

# プシケおおたニュース

2021年1月号 NO.40

社会福祉法人 プシケおおた事務局  
〒144-0051 東京都大田区西蒲田 4-4-1  
TEL : 03-5700-6352  
FAX : 03-5700-6753  
E-mail [psyche-ota@mbj.nifty.com](mailto:psyche-ota@mbj.nifty.com)  
HP <http://www.koujiya-center.com/>

## ◆法人の理念◆

「一人ひとりの”ちから”を信じ、当事者の思いを実現する。」

～私たち（プシケおおた）は、関わる人・機関が持っている力とその可能性を信じ、当事者の「こうしたい、こうありたい」という思いの実現に向かって行動します～

## ◆運営方針◆ 職員行動指針；

- ① 当事者中心
- ② 自己決定
- ③ 権利擁護
- ④ 啓発
- ⑤ 協働
- ⑥ 創造
- ⑦ 研鑽
- ⑧ Win-Win



城南島海浜公園

## 2021年 巻頭言

プシケおおた

理事長

石井 一平

新年のご挨拶を申し上げます。

本年は健やかで安心できる年となる様に願いたいと思います。

さて昨年の1年間は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)で世界中の方々が悩まされました。幸い日本では各人の衛生意識が高く、普段からの医療福祉などの充実している状況から、感染者・重篤者は比較的多くならずに済むかと思っておりましたが、やはり冬の時期に入り、激しく感染者の数が増えました。

また、実際に感染により呼吸器や血管系の失調により命を落としたり、後遺症で悩まされる方も多く、そのご家族にも大きな影響を及ぼしています。更に感染はしていないものの、その予防として様々な対策が課せられ、また仕事や家庭内にもこれまでに無い負担となってしまいました。加えて、感染してしまうのでは無いか、感染させてしまうのでは無いか、という不安を持つ方も多く見られました。外出しにくくなったり、うつ的になったり、不眠になったり、仕事の行く先に大きな不安を持ったりされています。特に、お一人暮らしの方では話し相手が居ず、人との交流も制限され、大分心細い状態であったようです。プシケおおたの生活支援センターなどが皆様に居場所としてお役にたっていればと願っています。

明るくない話題になってしまいましたが、令和3年は日本にとっては期待したいオリンピック・パラリンピックの開催が予定されております。本来の開催予定であった昨年は、多くの方々がボランティアの準備とか観戦のチケットの予約とか話題が盛り上がっていました。今年は引き続き準備万端となっているのでしょうか。オリンピック・パラリンピックの開催が無理なく出来る状態になれば、国民の気持ちも明るくなるでしょう。さて当法人におきましては、昨年はコロナ感染症の影響で一時事業を縮小せざるを得ませんでした。皆様のご支援のもと基本的には順調に運営させて頂いて居ります。大田区では数少ない事業を引き受け、また更なる要請にも応えるよう期待されることが御座います。当法人では、それらの要請に対して人的また経済的などの観点で検討している状況です。総てのご要望にお応えできるかは難しい問題ですが、皆様のお知恵などを拝借して、安定した運営を念頭に、少しでも区民の方々への貢献をしてゆきたいと考えます。今後ともご指導やご支援を宜しくお願い申し上げます。

## こうじや生活支援センター クリスマス音楽会の報告

12月19(土)と25日(金)にクリスマス音楽会を行いました。職員の濱口さんと刈屋さんが楽器を演奏し、参加者は鈴やカスタネット等の楽器を鳴らして楽しまれていました。また、両日とも19年にも来て下さったゲストの方が手品ショーをしてくださいました。新型コロナウイルスのため、事前予約制で少人数となりましたが、楽しく温かい会となりました。これからも今できることを模索していきたいと思います。本年もこうじや生活支援センターをよろしくお願い致します。

コロナで少数皆でクリスマス会さびしかったですけど、少数でもいいなと思いました。クリスマスソングを聞けて良かった。音楽は最高です。

オルガンと楽器コラボはめったに聞けないです!!マジックも見られてとっても楽しかったです!!ステキな演奏とマジックをありがとうございました。

田口琴絵



今日のクリスマス音楽会は一緒に楽器を使って参加出来たり、マジックが見れたりと楽しかったです。ありがとうございました。

楽しかったです。オルガンの演奏が良かったです。手品がタネを見せてくれて面白かったです。

田尻隆勝



## かまた生活支援センター コロナ禍で変化したこと



かまたセンターではコロナ禍の影響でプログラム等が一旦停止しており、センター内で出来ることが少なくなってしまうため、せめてセンター内でフリーWi-Fiが利用できれば、という意見が挙がりました。この意見を受けて、かまたセンターとして調整を行いフリーWi-Fiの利用が可能になりました。

また、コロナ感染者が発生しても、可能な限り事業を継続するため、同時に速やかな事業復旧を可能とするためのマニュアルを作りました。作成する上で苦労した点は、上記の目的を達成するためにはあらゆる状況を具体的に想定する必要があったということです。考えれば考えるほど次々に準備しなければならないことがあり、終わりが見えなくもなりました。しかしながら、この苦労を経験したことで、更なる想定外のマニュアルに無い事態が起きたとしても、経験する前よりは確かに迅速な対応が可能となることと思われまます。コロナをきっかけとしたマニュアル作りではありましたが、「具体的に考え、想定し、準備する」という経験一つをとっても、マニュアルを作る意義は大いにありました。

## ホームブシケ

昨年の12月19日にホームめいにて、クリスマス食会を開催しました。非常勤の職員さんが腕によりをかけて、ミートローフとジャーマンポテト、そして自家製のパンを作ってくださいました。準備の段階ですでに美味しそうな匂いがただよっており、入居者さんも「すごいいい香り！」と期待していました。

今回は入居者さん全員が参加してください、美味しいと口々に言いながら、話に花も咲いていました。とある入居者さんが「今、すごく幸せを感じています」とおっしゃっていました。私も皆さんと一緒に楽しく食事が出来て、とても心が温かくなりました。

デザートは皆さんのリクエストでもあったショートケーキを食べました。スポンジもクリームもあっさりしており、ごちそうを食べた後でも皆さんぺろりと完食でした。

入居者の皆さんが笑顔で会を終えられることが出来ました。このコロナ禍で次回の開催が出来るか分かりませんが、また皆さんで安心して美味しいご飯を食べられる時が来てほしいと願っています。



### クッキングワーク街の駅

おおむすび(大田区生産活動支援施設連絡会)に参加しています

クッキングワーク街の駅では今年度より、大田区内の障がい者施設が連携し自主生産品の販売や軽作業を請け負う、おおむすび(大田区生産活動支援施設連絡会)に参加しています。

クッキングワーク街の駅からはパウンドケーキを出品しております。パウンドケーキは街の駅のメンバーが主体となって作っており、おかげさまで出品した分は完売し好評をいただいております。

おおむすび販売会では、他にもさまざまなお菓子や雑貨、アクセサリなどが出品しております。今後も販売会を行う予定です。

詳しい日時などは「おおた生産連 (<https://ootaseisanren.org>)」のお知らせにて順次告知されますので、ぜひお越しください。



## 地域行事のご案内

### 「オキナワへいこう」映画上映会のお知らせ

大阪府堺市の精神科病院に入院中の女性の「一度でいいから沖縄の海を見てみたい」という希望をかなえようと、ご本人、支援者が挑戦していく姿を描いたドキュメンタリー映画です。沖縄旅行をきっかけに退院する患者さん、沖縄旅行がかなわず入院し続ける患者さん。沖縄行きを軸に「精神科病棟の長期入院」の現実をユーモラスに描いています。本人主体の意義、病院、地域との連携、障害のある人の人権課題やこれからの多様な共生社会づくりを考えるきっかけになればと企画しました。大西暢夫監督とのトークイベントも開催します。

- 新型コロナ感染症対策を徹底して参ります。
- 日程；令和3年2月23日(火曜祝日)13～16時
- 場所；東京工科大学3号館10階階段教室
- 主催；障害者理解啓発グループおおた～ツタエルチカラ～
- WEB 申し込み；[https:// forms. gle/y7zFH7E7R7GYrdPTA](https://forms.gle/y7zFH7E7R7GYrdPTA)
- お問合せ；こうじや生活支援センターまで。



(こうじや生活支援センター 濱口)

### コミュニティースペースにしかまた

10～12月の間に東京工科大学の学生さん達が、地域演習でCSにしかまたに来てくださり、お店のレイアウト変更とポスター作りを手伝って下さいました。学生さん、スタッフの方々と協力しながら作業していき、店内も明るくなり入りやすくなったと思います。現在、緊急事態宣言中のためお店はお休みしていますが、再開後にはぜひ「お休み処」としてホッと一息つきにいらしてください。(京極)



### 心の、あけほの展

2月16日(火)～21日(日)(10:00～19:00、最終日は10:00～15:00)に大田文化の森にて恒例の「心の、あけほの展」を開催いたします。13回目となるあけほの展では精神に障害を抱える方々が作った写真や絵画、書等の作品を展示しております。入場無料で気軽にご覧いただけますので、ぜひご鑑賞ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため手指のアルコール消毒にご協力いただければ幸いに存じます。また、緊急事態宣言等社会の情勢に鑑みてあけほの展の開催を縮小、中止する可能性があることをご了承ください。

精神保健福祉の理解を深める会 あけほの会

# 投稿コーナー

どん底も 深き意義価値 ありぬべし

抗コロナ あおさクロレラ キヤッツクロ  
一つ一つを試してみるか

家出猫 自分探しの 一匹旅

笹あさる パンダの息も 白くなり

ものぐさも やむを得ずして 立ち上がり

川柳

南蒲田の住人さん



「自然の優しさ」  
撮影：あたまが いいひと さん



伊藤 美桂さん

## 《 編集後記 》

昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、外出自粛を余儀なくされるという今までに経験のない年となりました。

現在も再度緊急事態宣言が発令され、行きたい場所に行けず、会いたい人に会えない日々が続いていますが、このようなときだからこそ誰かや何かを思うことが増えたのではないかと思います。

私は登山が好きなのですが、なかなか山に行くことができないでいます。それでも好きな山や山小屋、そこで出会った人たちのことを思い、また会える日を楽しみに今は生活しています。

この状況が一日でも早く終息に向かい、いつもの生活を取り戻せることができるよう心から願っております。

(青木)

## ご寄附の御礼

プシケおおたの設立に貢献し、その後は理事として力を尽くして下さった松田厚一さんのお嬢様から一文とともに多大なご寄附を頂きました。有難うございました。

「父が亡くなって10年になります。生前よりの父の思いを遺志としてご寄附させて頂きます。今まで、そしてこれからも父はプシケの皆さまの心の中で見守っていることと思います。木下孝子」

### 賛助会だより

#### ・会員の皆様へ

コロナで賛助会の役員会、総会などが開けなくなっています。高齢の方も多く感染の危険を考えるとやむを得ません。リモート会議も検討必要ですが、どちらかというネットのことは苦手な方が多いので、完全な下火になるのを待っている状態です。今年も、書面開催になるかもしれません。

#### ・法人職員の皆様へ

賛助会は、社会福祉法人プシケおおたを応援してくれる個人や組織など社会資源の集まりです。法人の職員の皆様の事業運営がうまくいくよう、財政的支援、障害理解啓発活動、CSにしかまた運営支援などの活動をしています。職員の皆様にも賛助会のことを考えていただき、参加してもらえればありがたいなと思います。どうぞよろしく願いいたします。

#### ・ご案内

賛助会としても普及を望んでいる映画「オキナワへいこう」が障害者理解啓発グループおおた～ツタエルチカラ～の主催で、2021年2月23日（火曜祝日）に「上映会&トークイベント」として上映されます。ぜひ参加をお勧めします。13:00～16:00（開場12:30～）東京工科大学3号館10階階段教室（JR蒲田西口近く）

2020年1月17日から12月29日までに会費を納入して頂いた方（敬称略）

個人会員；67名

団体会員；4団体

心より御礼申し上げます。今後ともよろしく願い致します。コロナ禍の中お大事にお過ごしください

賛助会代表 高橋明紀代

#### 入会のご案内；

プシケおおた賛助会は、社会福祉法人プシケおおたの運営の維持・発展のために支援協力することを目的として活動を行っています。当会の趣旨にご賛同いただける方の入会をお待ちしております。会費は年間1口2000円からで、何口でも可能です。入会を希望される方は、下記口座に会費をお振込みください。

郵便振替 口座番号 00150-5-663423 加入者名 プシケおおた賛助会